

G 7伊勢志摩サミット開催地域の市民社会・子ども分科会からの提言

世界中のすべての国が、国連子どもの権利条約に規定される子どもの権利の実現を共通の目標とし、すべての子どもが、障がいや人種、性別、出自等により差別されることなく、子どもの最善の利益の視点で支えられ、安心して希望をもって育つことのできる平和な社会をつくるのが私たちの願いです。その実現のために、各国政府が、子どもの声に耳を傾け、以下の提言を踏まえ、数値目標等の具体的な子ども政策をつくることを求めます。

日本国内にあつては、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、子どもの生存、発達の権利が脅かされています。食料品の汚染や居住環境の悪化から子どもを守るため、日本国政府はあらゆる適切な対策に取り組んでください。

また、子どもへの厳罰主義への傾向がみられることを懸念し、少年非行防止に関する国連指針（リヤド・ガイドライン）の基本的原則を守ることを求めます。

1. 子どもの権利を普及・啓発することを求めます。
 - (1) 子どもの権利について、子ども自身が学べる機会を提供すること。
 - (2) 子どもの権利について、すべての大人が理解する機会を提供すること。
2. 子どもの参加する機会を保障することを求めます。
 - (1) 子どもは社会の一員であり、意思決定を共有するパートナーであることを認識すること。
 - (2) あらゆる分野で、子どもがどのような形でも意見を述べることのできる機会を保障すること。
 - (3) 乳幼児を含めた子どもの声を読み取る力のある人を養成し、アドボケーター、ファシリテーターとすること。
 - (4) 子どもに関する施策・制度に子どもの意見を聴くことを義務付けること。
 - (5) 最も貧しい子どもなど、特に困難に直面する子どもの声を聞き、その声を政策に反映すること。
 - (6) 子ども自身の活動を応援すること。
 - (7) 子どもの主体的参加を実現するため、支援者の養成を行うこと。
 - (8) 災害等の緊急時にも子どもの声を聞き、参加を保障すること。
3. 子どもが育つ環境づくりを向上させることを求めます。
 - (1) 子どもが安心して居住地を探索行動できる環境をつくること。
 - (2) 子どもらしく騒いでもいい公園、施設、エリアを確保すること。
 - (3) 生活する身近なエリアに自然とふれ合える環境があること。
 - (4) 自分や他者を守り、命の大切さを知る適切な性教育を受けること。
 - (5) 食事は子どもの心と体をつくる基本であることを忘れず、食育の知識を社会の中で広げること。
 - (6) 自然の恵み、自国の文化を知り、人々との豊かな関係を感じられる社会を築くこと。
 - (7) 子どもの個性を尊重し、自己肯定感を育むこと。
 - (8) 日本国内においては、教育制度を見直し、社会福祉の一員として機能する学校へ転換すること。
4. 子どもが遊ぶことを保障することを求めます。
 - (1) 遊ぶことは子どもの内側から生み出されるエネルギーそのものであり、生きるための大切な権利として認識すること。
 - (2) 遊ぶことは脳の発達に重要な役割を果たし、社会性や創造力、想像力、自信と自己有用感、身体・心の強さ、体の器用さを育むものであることを理解し、子ども政策の中に遊ぶ権利を位置づけること。
 - (3) ゲームや高額なおもちゃなど、遊びがハイテク化、商業化し、本来の遊びを蝕んでいるため、

規制策を設けること。

- (4) 大人が教育目的で遊びを利用することはあるが、それと子どもの自発的な遊びとの違いを認識し、子どもに関わる全ての大人に子どもの遊びについて学ぶ機会をつくること。
- (5) 子どもが遊ぶ環境（屋内・屋外の場所、十分な時間、見守る人間等）を整備すること。
- (6) 子どもが主体的に遊ぶことのできる環境を整えるプレーワーカーを養成し、適所に配置すること。
- (7) 子どもには、遊ぶことで、心の傷をいやす力があるため、災害時や紛争時においても子どもが遊ぶことを保障すること。
- (8) 国連子どもの権利委員会による※一般的意見第 17 号を法律や政策レベルの問題として認識し、改善策を図ること。

※国連子どもの権利委員会が 2013 年に公布した子どもの権利条約第 31 条休息、余暇、遊び、レクリエーション活動、文化的な生活および芸術に関する一般的意見のこと

5. 子どもへのあらゆる暴力を防止することを求めます。

- (1) 虐待や体罰、心理的暴力などすべての暴力を禁止すること。
- (2) あらゆる暴力から子どもを守る法律を制定すること。
- (3) 有害な児童労働を禁止すること。
- (4) 体罰など暴力に依存しない躰、指導の開発、普及啓発を強化すること。
- (5) 不適切な養育を防止し、適切な子どもの養育を知るための、親や養育者への教育と支援をすること。
- (6) 子どもを守る地域ネットワークづくりとその強化を支援すること。
- (7) 暴力は人権侵害であることを理解するための暴力防止教育を実施すること。

6. 子どもの貧困・格差を減らす努力を社会全体で取り組むことを求めます。

- (1) 教育に関わる費用はすべて無償とし、すべての子どもに幼児期からの教育の機会の平等を保障すること。
- (2) 医療福祉などの子ども関連予算を十分に確保すること。
- (3) 各国が貧困を解消するために現状調査を行った上での数値目標を掲げた政策を作ること。
- (4) 格差や孤立によって生み出された自己肯定感の低い子どもたちが、人から褒められ、必要とされ、認められる居場所を作ること。
- (5) 児童買春、児童ポルノ、JK ビジネスをなくすこと。
- (6) 子どもの貧困に関する理解者・支援者を育成すること。
- (7) 年齢や制度により分断されない、妊娠期からの切れ目のない支援を目指すこと。
- (8) 国内においては、単独親権が一人親家庭の子どもの貧困の一因となっているため、共同親権、共同養育を実現すること。

7. 原子力発電による子どもの権利侵害をなくすことを求めます。

- (1) 原子力発電は、子どもの権利を著しく侵害するものである。よって、原子力発電所は新たに造らないこと、再稼働しないこと、稼働中のものは止めること。
- (2) 放射性物質に関する正しい知識と、情報を得るための教育を保障すること。
- (3) 国内においては、高濃度汚染から避難・移住する権利を認め、2012 年に成立した「子ども被災者支援法」に基づいた具体的施策を講じ、子どもたちが安心して暮らせるようにすること。
- (4) 国内においては、被曝の影響の大きい子どものための食品の放射線量安全基準を作ること。
- (5) 国内においては、福島第一原子力発電所事故が原因であるとの視点に立ち、継続的な子どもの健康調査を実施し、将来にわたる健康を保障すること。

■呼びかけ団体/賛同団体（者） 41 団体 49 名（5月28日現在）

- 特定非営利活動法人 21世紀の子育てを考える会・鈴鹿
- 特定非営利活動法人 仕事工房ポポロ
- 子どもの人権ネットワーク・岐阜
- こどもフォーラム
- てんぱくプレーパークの会
- エンパワメントみえ
- 特定非営利活動法人 ぎふNPOセンター
- 特定非営利活動法人 子育て支援のNPO まめっこ
- 特定非営利活動法人 子ども&まちネット
- 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち
- 特定非営利活動法人 全国こども福祉センター
- 特定非営利活動法人 れんこん村のわくわくネットワーク
- ユニバーサルデザイン・ステップ
- 特定非営利活動法人 日本ファーストエイドソサエティ
- こんぺいとう
- こどもNPO
- かさまつ子どものまち
- 特定非営利活動法人 市民社会研究所
- 特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター
- リトルハウス（よさみプレーパーク）
- あいち森のようちえんネットワーク
- 一般社団法人 インテグレーション・アカデミー
- 特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター
- 特定非営利活動法人 四日市NPO協会
- 特定非営利活動法人 ユニバーサル就労センター
- 特定非営利活動法人 チャイルドラインあいち
- 特定非営利活動法人 チャイルドラインMIEネットワーク
- 特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター
- 特定非営利活動法人 こどもサポート鈴鹿
- 特定非営利活動法人 四日市まんなかこどもステーション
- 特定非営利活動法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市
- 乳歯保存ネットワーク
- リリオの会
- 岐阜キッズな（絆）支援室
- 公益財団法人アジア 保健研修所
- デモクラティックスクールまんじえ
- 特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会（AJF）
- 特定非営利活動法人ワークスタイル・デザイン
- チルドレンファースト
- 大阪子どもの貧困アクショングループ
- 特定非営利活動法人 泉京・垂井
- 西井 和裕
- 空閑 省子

- 樋口 史子
- 松江 比佐子
- 宇佐美 良知
- 工藤 志保
- 加藤 琉魅子
- 田尾 幸子
- 今井田 正一
- 神田 すみれ
- 高橋 弘恵
- 比嘉 綾
- 魯 慈忍
- 吉川 恭平
- 伊藤 一美 (NPO 法人子ども&まちネット)
- 滝 栄一
- 佐藤 仁志
- 曾我部 行子
- 三田 景子
- 本岡 恵
- 青野 桐子
- 津山 直子
- 玉川 香織
- 伊与田 昌慶
- 渡辺 宏明
- 薬師寺 有華
- 久富 ゆき
- 中尾 さゆり
- コープ 知美
- 丸山政子
- 近藤 由香
- 奥野 賀子
- 川合眞二
- 鷺見洋介
- 平 鈴子
- 古都琢磨
- うちやまはるか
- 小西良政
- 村上公彦
- aizawa yuji
- 馬場 佐希子
- 西野 結
- 難波 教子
- 荻沼 良光
- 勝又 輝次
- いずみ なおき
- 小島 太郎
- 佐久間博秀事務所

- 杉田 真之